平成27年第1回 まんのう町議会臨時会

まんのう町告示第1号

平成27年第1回まんのう町議会臨時会を次のとおり招集する。

平成27年1月6日

まんのう町長 栗田 隆義

1. 招集日 平成27年1月9日
2. 場 所 まんのう町役場議場

平成27年第回まんのう町議会臨時会会議録（第1号）

平成27年1月9日（金曜日）午前 9時30分 開会

出席議員 15名

1番 竹林 昌 秀	2番 川 西 米希子
3番 田 岡 秀 俊	4番 合 田 正 夫
5番 三 好 郁 雄	6番 白 川 正 樹
7番 本屋敷 崇	8番 白 川 年 男
9番 白 川 皆 男	10番 大 西 樹
11番 藤 田 昌 大	12番 松 下 一 美
13番 三 好 勝 利	14番 大 西 豊
16番 関 洋 三	

十

欠席議員 1名

15番 川 原 茂 行

会議録署名議員の指名議員

4番 合 田 正 男

5番 三 好 郁 雄

職務のため出席した者の職氏名

議会事務局長 青 野 進

議会事務局課長補佐 常 包 英 希

地方自治法第121条の規定により、説明のため出席した者の職氏名

町 長 栗 田 隆 義 副 町 長 栗 田 昭 彦

教 育 長	齊 藤 賢 一	総 務 課 長	齋 部 正 典
企画政策課長	高 嶋 一 博	税 務 課 長	田 岡 一 道
住民生活課長	森 末 史 博	福祉保険課長	川 田 正 広
会計管理者	仁 木 正 樹	健康増進課長	奈 良 泰 子
建設土地改良課長	池 田 勝 正	産業経済課長	久留嶋 一 之
琴南支所長	雨 霧 弘	仲南支所長	和 泉 博 美
学校教育課長	尾 崎 裕 昭	社会教育課長	脇 隆 博
水道課長	天 米 賢 吾	地籍調査課長	高 橋 守

○**関洋三議長** おはようございます。

川原茂行議員より欠席の届け出がありましたので、御報告いたします。ただいまの出席議員は15名であります。

定足数に達しておりますので、これより平成27年第1回まんのう町議会臨時会を開会いたします。

招集者であります、町長の御挨拶をお願いします。

町長、栗田隆義君。

○**栗田町長** 皆さん、改めまして、新年あけましておめでとうございます。また、本年もどうぞよろしく願いいたします。

本日、平成27年第1回まんのう町臨時会、招集いたしましたところ、年初めの大変お忙しい中、議員の皆さん方には御参集をいただきましてありがとうございます。

本議会に提出しておりますのは、議案2件でございます。どうぞよろしく御審議の上、御議決賜りますようお願いを申し上げまして、開会の挨拶とさせていただきます。本日はどうぞよろしく願いいたします。

○**関洋三議長** 直ちに、本日の会議を開きます。

本日の議事日程は、あらかじめお手元に配付したとおりであります。

日程に入るに先立ちまして、議会報告をいたします。

事務局長、青野進君。

○**青野議会事務局長** それでは、御報告申し上げます。

町長から、地方自治法第149条の規定に基づく議案2件を受理いたしました。

次に、会議規則第14条2項の規定に基づく議案1件を受理いたしました。

以上で、報告を終わります。

○**関洋三議長** 議会報告を終わります。

日程第1 議会運営委員会報告

○**関洋三議長** 日程第1、本日の議事日程等について、議会運営委員会の報告を願い

ます。

議会運営委員長、白川正樹君。

○白川正樹議会運営委員長 議会運営委員会の御報告を申し上げます。

1月8日、午前9時30分より、第1委員会室におきまして、町長、副町長、総務課長、議長同席のもとに、議会運営委員会の委員5名が出席いたしまして、慎重に審議しました。

それでは、お手元に配付されております議事日程第1号について御説明を申し上げます。

日程第1 議会運営委員会報告 議会運営委員長

日程第2 会議録署名議員の指名

日程第3 会期の決定 本日1日間といたします。

日程第4 議案第1号 工事請負変更契約の締結について（平成25年度社会資本整備総合交付金事業町道道德寺橋大空線道路改良工事（道德寺橋下部工事））、即決でお願いします。

日程第5 議案第2号 まんのう町立学校条例の一部改正について、即決でお願いします。

日程第6 発議第1号 本屋敷崇議員に対する議員辞職勧告決議（案）、即決でお願いします。

以上の日程で、意見の一致を見、午前10時10分、委員会を閉会いたしました。

以上で、議会運営委員会の報告を終わります。

○関洋三議長 これをもって、議会運営委員会の委員長報告を終わります。

ただいまの委員長報告に対する質疑はありませんか。

11番、藤田昌大君。

○藤田昌大議員 11番、藤田ですが、議運の委員長の報告にちょっと報告を求めたいと思います。

日程第6の発議第1号の件でありますけれども、この分については全員協議会の中で、一応、議長預りということで決まっと思ったと思うんですね。それ以降、議長からの報告はありません。その中で、いきなりこういう議長の意向を無視して、議員発議が出てきたのか、その辺ちょっと気になりますので、その経過について委員長にお尋ねしたいと思います。

○関洋三議長 答弁、6番、白川委員長。

○白川正樹議会運営委員長 議員預かりというか・・・

〔「議長預かりです。議員預かりと違います。」と呼ぶ者あり〕

○白川正樹議会運営委員長 議長預かりというようなことを、今おっしゃいましたけれども、議長に任すというように私は解釈いたしましたので、ということです。

○関洋三議長 再質問、11番、藤田昌大君。

○藤田昌大議員 議長にお任せするという事ですので、議長が決めて議運のほうでやってくれというようにいうたんやったら、議長の権利放棄でありますので、そういった部分では議会議員としての、議会としての筋をちゃんと通していただきたいと思うんですね。議長の中で、こういう報告になって、全員協議会を招集して、議長としてこうようになりますので、議運のほうへ預けますということになって、議運のほうからきたというのがあればわかるんですけども、私たちには一切そういうことはありません。ですから、そのことを報告して、議運のほうへしていただかないと、議運は勝手にするもんとは違うんですね。そういった部分では、議運の委員長、慎重に議論していただきたいと思えます。それはどうですか。

○関洋三議長 答弁、委員長。

○白川正樹議会運営委員長 どういうことでしょうかね、これ議運に預けますいうことを僕聞いてませんので、これは僕出したつもりではおるんですけどもね、聞いてませんのでね。はい。

○関洋三議長 再質問、11番、藤田昌大君。

○藤田昌大議員 再質問、再々質問言いよりもですけど、これは1回や2回や3回で終わるものと違うんです。執行部に対する議案については、再々質問とかでやめんかという申し合わせはありますけれども、これについてはそういったあれではないはずなんですよ。ですからこれ、大変な議案なんですね、はっきり言うて。本人の一生にかかわる問題なんです。それを軽々しくこういう出し方をしてええんかということ、私は聞つきょんですよ。議運の位置づけは大変重要なんですね。全てを全部みんなに聞いていきながら、この議会をスムーズに運用しましょうということやるのが議会なんです。突然にこういうのをやられたら、その経過をここで質問せな仕方ないですよ。事前にあるんであれば僕らも納得できますけど、いきなりきょうきて、ええっ、辞職勧告決議案、これどなんなとんやというのが僕の正直な意見です。動議で出るんは別ですけど、こうした議案として出るなら、日程の中に入るとしたら、それなりのきちんとした説明があると思うんですよ。それについては議運の委員長どうですか。はい、どうぞ。

○関洋三議長 委員長、答弁。

○白川正樹議会運営委員長 その手続きの件に関しては、事務局のほうへちょっと説明をお願いいたします。

〔「ちょっと待てよ」と呼ぶ者あり〕

○藤田昌大議員 ちょっといいですか。

○関洋三議長 ちょっと待ってください。

○藤田昌大議員 休憩をとって打合せしてもかまんで。そんなに、ここでもめさすつもり僕は一切ないきに。

○関洋三議長 ちょっと休憩とらさせていただきます。

暫時休憩にさせていただきます。

休憩 午前9時39分

再開 午前9時46分

○**関洋三議長** 休憩を戻して、会議を再開いたします。

議会運営委員長 白川正樹君の答弁から始めていきます。

委員長。

○**白川正樹議会運営委員長** 今の質問ですけど、議長のほうから議運に任せるということを聞きましたのでそのようになりました。

○**関洋三議長** 質問、11番、藤田昌大君。

○**藤田昌大議員** 議運の委員長ですね、ぜひ責任持って答弁していただきたいと思います。と申しますのが、やはり議会ですから、形式というのがありまして、流れがあります。議会の全員協議会の中で、議長預りいうことでしたんですから、その部分で、議運を開いたときに、こうこうこういう事情があつてこうなりましたと。じゃあ、ほんだら議運なんですんやったらするということを決めて、多数決で決まったか、全会一致で決まったかどうか知りませんが、こういうのがまんのう町議会の議会運営として、ふさわしくないんでないかということで、僕は議運のほうで決めたと思うんですよ。

ですから、当然そういったきちとした経過を踏まえて、こういった経過になったということがあれば、私もなんちゃ言いませんけど、いきなりこう出されたら、ちょっとどうしたんやということになりますので、その辺で、今後、委員長、丁寧な御説明をよろしくお願いします。以上です。

○**関洋三議長** 答弁、委員長。

○**白川正樹議会運営委員長** はい、分かりました。

○**関洋三議長** これをもって、質疑を終了いたします。

日程第2 会議録署名議員の指名

○**関洋三議長** 日程第2、会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員は、会議規則第126条の規定により、議長において、4番、合田正夫君、5番、三好郁雄君を指名いたします。

日程第3 会期の決定

○**関洋三議長** 日程第3、会期の決定の件を議題といたします。

お諮りいたします。

本臨時会の会期は、本日1日間といたしたいと思っております。これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○**関洋三議長** 異議なしと認めます。

よって、会期は1日間と決定いたしました。

日程第4 議案第1号 工事請負変更契約の締結について（平成25年度社会資本整備総合交付金事業町道道德寺橋大空線道路改良工事（道德寺橋下部工事））

○**関洋三議長** 日程第4、議案第1号 工事請負変更契約の締結について（平成25年度社会資本整備総合交付金事業町道道德寺橋大空線道路改良工事（道德寺橋下部工事））を議題といたします。

提出者から提案理由の説明を求めます。

町長、栗田隆義君。

○**栗田町長** 議案第1号 工事請負変更契約の締結についての提案理由を説明申し上げます。

次のとおり工事請負変更契約を締結したいので、地方自治法第96条第1項第5号及びまんのう町議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第2条の規定により議会の議決を求めるものでございます。

工事名、平成25年度社会資本整備総合交付金事業（町道道德寺橋大空線道路改良工事（道德寺橋下部工事））。契約の相手方、株式会社 澤村組。変更契約金額、3,231,000円、内消費税1,656,000円でございます。

今回の工事請負変更契約は、町道改良工事の内、橋梁改築の下部工事におけるものであり、平成25年11月1日に株式会社澤村組と当初契約をいたしております。

当橋梁は七箇本目地区から県道讃岐財田停車場線に接続する路線内に存在し、財田川を横断する橋梁として地域の交通環境の一端を担っており、平成25年11月より下部工事に着手し、平成27年度中の供用開始を予定しております。

今回の変更契約は、主に旧橋梁撤去工、仮設道路工における減額と、水替工、護岸工、平板載荷試験の増額における工事費の変更と消費税額の増額を対象としております。

減額分につきましては、旧橋梁撤去工は、撤去時に確認した際に、旧橋梁の構造が当初設計と異なっておりました事の対応、仮設道路工は規模の変更による対応となっております。

増額分につきましては、延べ3回の台風時の出水における水替工の内容変更、護岸工のブロック積面積の増加対応、橋台、橋脚の支持地盤の強度確認のための平板載荷試験が追加となっております。

また、当初契約は消費税が5%の契約であったため、8%に増額対応いたします。

このような変更内容によりまして、総額3,231,000円、内消費税1,656,000円の変更契約となっております。

以上、御審議の上、御議決賜りますようよろしくお願いいたします。

○**関洋三議長** これをもって、提案理由及びその内容の説明を終わります。

これより質疑に入ります。質疑はありませんか。

11番、藤田昌大君。

○**藤田昌大議員** 藤田ですが、変更金額について大まかな説明はあつとんですけども、

こんだけの項目があるのであれば、合計でなんぼかいうのはわかるはずなんですね。ですから、それに伴う、例えば交通誘導員になればなんぼがあって、ゼロになって、こうなって、なんぼの金額になった。これ全てわかるはずなんですよ。ですから、この項目ごとにやって、増減の合計が、増減の増については3,099,000円だったと、それで金額についてはそれぞれ仮設道路工事がなんぼで、全部金額が出ると思うんですね。その分の金額を出すのは、これやぶさかでないでしょう。そういうなん、わかっということやから、やっぱりそこまで詳しく出していきながら、その減額とか、増額の部分があってるか、あってないんかいうのは、こっちが判断することでありまして、いまさら反対はしませんけれども、やはり丁寧な議案について、もっと丁寧な方向を出していただきたいんです。たとえば、作業時運転の8時間がなんぼで、常時運転がなんぼで、こうなったこの金額と金額の相対が出てくるんですよ。それを出して、この部分の例えば、水替工ですか、この分がなんぼの増額になったと、護岸工がなんぼ、これ全部出ると思うんです。基づけがあるはずなんですよ。費用のね。それを出して、総額が3,099,000円になったと、それぐらいの説明はすぐできると思うんで、ぜひ資料の中で出してくれたら、もうこれ質問する必要はないんですけども、それぐらいの資料は出していただきたいんですけど、口頭でも言えると思いますんで、どうぞ答弁をお願いします。

○関洋三議長 答弁、建設土地改良会長、池田勝正君。

○池田建設土地改良課長 藤田議員さんの御質問にお答えいたします。

ただいまの件につきましては、詳細の増減、これはもうわかっておるんですけども、例えば交通誘導員ひとつ取り上げますと、23人からゼロになったと、こういった時点でこの金額を公表しますと、もう増額で設計金額のほうにつながってまいりますので、それについてちょっと差し控えさしていただいております。

それで、一応その大枠でもう増額部分が、このお手元の参考資料を見ていただいたら、おわかりになると思いますが、上段4項目がこのトータルでこれだけ増額したと、以下、下の5項目については、この5項目で減額したのがトータル工で、差し引きこの工事費価格になっておるといふことにとどめさしていただいております。以上でございます。

○関洋三議長 再質問、11番、藤田昌大君。

○藤田昌大議員 非常に複雑な事情があるようですので、あんまり詳しくは言いませんけれども、例えば僕が一番求めたいのは、請負労働者の最低賃金が守られとるか、守られとらんのかが一番気になるんですね。例えば交通誘導員やったら、何時間なんぼいうて決まるとるはずなんですよ。それを今回しよらなくていいですから、構いませんけれども、そういった部分が非常に末端の下請け孫請けになってきたら、最低賃金が守られてないという部分がようけ出てくるんですよ。そこまでを犠牲にしたこんなんであったら非常にいかなので、やはりある程度は出せる部分には出していただいて、その他、だいたい何でもその他いうのがつきますよね、それで逃げて構いませんから、公にできる部分はなるべく公にしていきながら、これから多分増額工事については、増額変更がようけ出てく

と思うんです。例えば、仲南幼保の分についても、鋼材が値上がりした、どうこういうのがあります。そういった部分ではやはりこういった値上がりがあって、数が増えて、その数が増えたのは強度を強化するためにするんやと、そういった部分があれば、我々何もかも反対する気は一切ありませんので、具体的にわかるような資料を出していただければええと思いますので、その辺については、今後の対応をお願いしたいと思うんですが、どうですか。

○関洋三議長 答弁、建設土地改良課長。

○池田建設土地改良課長 藤田議員さんの御質問にお答えします。

ただいまの件につきましては、議員さんおっしゃるとおり、こちらから公表して差し支えないところについては、それについてはわかりやすい、また内容がわかるようなことを考えていくということで、いきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

○関洋三議長 ほかに質疑はありませんか。

8番、白川年男君。

○白川年男議員 去年の年末から設計士さん1人、こちらのほうへ職員として採用しておりますわね。多分、この人もいろいろ書類を、我々素人が細かいことをなかなか見てもわからんもんで、そのための1人採用しとるはずなんです。

だから、その辺の設計士さんの所見とか、どういうふうにこの工事に対してかかわつとるかとか、その辺ちょっと、総務課長なり、お願いしたらと思います。

○関洋三議長 答弁、町長、栗田隆義君。

○栗田町長 白川年男議員さんの質問にお答えいたします。

町当局のほうで採用しております技術者につきましては、建築のほうの技術者でございます、土木のほうの技術者ではございませんので、今回相談いたしておりません。

○関洋三議長 再質問、8番、白川年男君。

○白川年男議員 建築のだったら、ある程度、土木のほうもわかるんでなかろうかと思うんですけど、建築であってもやっぱり詳細についてずっと項目を拾って、その積み重ねでこの金額が出るとそういうなつとるはずで、土木であってもやはりそれぞれの項目を拾って、どっちかっていうたら、素人目には項目はどっちかいうたら土木のほうが少ないと思うんですね。あの年代いうんか、あの人の経歴とかそういうのを見ると、ある程度の土木あたりはわかるんでなかろうかと思うんで、その辺、私の考えと町長の今の答弁と食い違うといやあ、それは・・・

○関洋三議長 質問者、質疑にしてください。質問に。

○白川年男議員 それについて、一言お願いしたらと思います。

○関洋三議長 答弁、町長。

○栗田町長 白川年男議員さんの質問にお答えします。

土木工事とか、建設工事につきましては、それぞれ資格者が監督にあたっております。建築の場合は1級建築施工管理技士とか、土木の場合は測量師とか、1級土木施工管理技

士と、それぞれ資格を持った人がその担当で上がっておりまして、今回の道德寺橋につきましては、まんのう町には資格者がおりませんので、コンサルタントのほうへ頼んで、いろいろ相談させて、こういう結果を出さしていただいておりますので、御理解賜りますようお願いいたします。

○関洋三議長　ほかにありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○関洋三議長　質疑なしと認めます。これをもって、質疑を終了いたします。

お諮りいたします。

ただいま議題となっております議案第1号は、会議規則第39条第3項の規定により、委員会付託を省略いたしたいと思っております。これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○関洋三議長　異議なしと認めます。

よって、議案第1号は、委員会の付託を省略することに決定しました。

これより討論に入ります。討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○関洋三議長　討論なしと認めます。これをもって、討論を終了いたします。

これより議案第1号　工事請負変更契約の締結について（平成25年度社会資本整備総合交付金事業町道道德寺橋大空線道路改良工事（道德寺橋下部工事））を採決いたします。

本案は原案のとおり決することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○関洋三議長　異議なしと認めます。

よって、本案は原案のとおり可決されました。

日程第5　議案第2号　まんのう町立学校条例の一部改正について

○関洋三議長　日程第5、議案第2号　まんのう町立学校条例の一部改正についてを議題といたします。

提出者から提案理由の説明を求めます。

町長、栗田隆義君。

○栗田町長　ただいま上程されました議案第2号　まんのう町立学校条例の一部改正についての提案理由を御説明申し上げます。

今回の一部改正の条例案は現琴南中学校に関しまして、約1年3カ月後の平成28年3月末をもって閉校とし、平成28年4月1日より満濃中学校への統合を図ろうとするものでございます。

提案に至るこれまでの経過でございますが、平成18年11月に町教育委員会より琴南中学校を満濃中学校校舎改築完成時に統合し、中学校教育を充実させることが必要であるとの報告を受け、平成20年1月に地区懇談会を開催いたしました。当時は生徒数も

多く保護者及び地域住民より琴南中学校の存続を求める意見が多くありましたことから統合実施を見送り、今日に至ったところでございます。

3町合併後8年が経過いたしました現在、平成26年度の琴南中学校は少子化の影響等に伴い全校生徒15名となり、平成27年度以降においても生徒数の増加が見込まれない状況と考えられるため教育環境や学校運営が課題となっております。

このことから、教育委員会の意見を参考に平成28年3月末の閉校を提案させていただくものでございます。

なお、統合に伴い遠距離となる琴南地区の生徒さんには通学や部活動などに支障を来さないよう路線バスやデマンドタクシー等を活用した公共交通手段の対応を考えております。

また、学校は地域文化の発信や防災の拠点施設として、また、地域コミュニティーづくり等、地域の核としての役割を担ってきた施設でありますので、閉校後はそれに代わる拠点として琴南地区の皆さんの御意見をいただき、地区活性化の核として、にぎわいある施設として有効活用してまいりたいと考えておりますので、よろしくお願い申し上げます。

条例の改正内容につきましては、条例第2条別表中より、学校の種類、名称、位置の欄より「まんのう町立琴南中学校」の削除を行うものでございます。

御審議のうえ、御議決賜りますようお願い申し上げます。

○関洋三議長 これをもって、提案理由及びその内容の説明を終わります。

これより質疑に入ります。質疑はありますか。

11番、藤田昌大君。

○藤田昌大議員 11番、藤田ですが、11月18日に臨時教育委員会をやって、この部分が公になったということですね。ですから、当然、前回の町長の報告のとおり前回のときに時期尚早ということを言われまして、強引な手法の中で、ちょっと反対が多かったと思うんですよね、私たちが当選したときには、別にもう統合してもええんやけどいう、具体的な話まであったんですよ。ただ手法の中でちょっと強引さがあって、反対をせざるをえんという人が割と多かったんですね。ただその反省を踏まえた中であるならば、なんでもうちょっと半年ぐらい前に、この臨時教育委員会が出されなんだんかないという気が1点します。

そして後の部分についても、あんまりこっちから条件出したと言ってましたよね、今。その部分では住民そこまで深く考えてませんで、今の住民の中に、通学路なんかは自分らで確保してもええよという人が割と多いんですよ。そういったもんも含めながら、何もかも与える、与えるいうんでなしに、もうちょっと、これもう決まると思いますんで、もっと膝突っ込んで、やっぱりこの13家庭を訪問して、電話2家庭で話したと、こういうんがありますので、これからもやっぱり話していきながらスムーズな環境ができるように、別に金を突っ込んだらええがというのとは僕は違うと思うんですよ。やっぱり住民の協力を求めてやるのが町の行政ですから、そういった部分では、その辺の部分があるのか、ない

のか、ちょっと教育長、今後の部分をお尋ねして、それによって、反対か賛成か考えないかのでよろしくをお願いします。

○関洋三議長 15ですか。

○藤田昌大議員 うん。具体的なんどうでもええ、数字はな。

○関洋三議長 答弁、斉藤教育長。

○斉藤賢一教育長 藤田議員さんの御質問にお答えいたします。

今、御質問いただきましたように26年度の11月になってから、具体的には町長さんのほうにお話をする発端ができあがっておりますけれども、教育委員会といたしましては、それ以前からたびたび議論というものはいたしております。いわゆる生徒さんへの配慮とか、地域への配慮というものもありまして、議論はするけれどもそれを具体的に提示する時期はなかなかそれほど早くはできなかったということでありまして、適当な時期を見計らってということで、今回11月頃に具体的なお話をもっていったということになっております。

今後、子供たちの勉学ということを第1に考えて、子供たちが困らないような方策を町のほうにも考えていただくということを、教育委員会としては要望してまいりたいというふうには思っておりますので、御理解をいただきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

○関洋三議長 再質問、11番、藤田昌大君。

○藤田昌大議員 まことに申し訳ないんですが、例えば11月18日に出したとなれば、それ以降、自治会とかそういったものは話していきながら、住民周知、これは実際は長いことかかるんですよ。民主主義の原則からいってやったら、半年ぐらい前から出しながらやっていって、結論を求めるのが普通ですけど、これも多分慎重に町長も、教育長もやられたと思うんで、前とは違うと思うんですけれども、やはり民主主義の原則から言いますと、やはり俺知らなんだがいう部分が出てくる可能性が強いですよ。そういった部分では、やっぱりもっと早めにやっていきながら、空気は全体的にもう統廃合知ってるんです、みんなはね。やっぱりその分を反対意見が出んように速やかに統合ができると、そういった方向の空気をつくっていかんと、今後のまんのう町の行政のあり方について問われますんで、何でもかんでもこの議会が承認するきんかまへんのやいう部分があれば、我々も抵抗するあれはもってますから、ただできたら、全会一致でこんなんは決まるのが僕はええと思うんで、そういった手法をぜひお願いしたいと思うんですけれども、それについてはどうでしょう。

○関洋三議長 再答弁、教育長。

○斉藤賢一教育長 藤田議員の再質問にお答えいたします。

教育委員会といたしましては、民主主義教育を推進する立場からも、我々自身が民主的な運営に務めてまいるという基本的な方針は持つておるつもりでございます。今後につきましても、そういった基本方針を守っていきたいとは考えておりますので、御理解をどう

ぞよろしく願いいたします。

○藤田昌大議員　ちょっと1件だけ言うとかわな。かまんな。

○関洋三議長　再質問、11番、藤田昌大君。

○藤田昌大議員　別にどうのこうのいうんではありませんけど、例えば連合自治会12月11日に説明ですよ、説明してのこの結論を、まだ1カ月来てないんですよ。今日1月9日でしょう。ということは連合自治会に説明して、その自治会の中の自治会が、各自治会に、きちっと説明できたかいうたら、僕これできてない部分が多いんでないかなという気がするんですよ。そういった部分で、それはもう自治会長の質にもよりますが、大事なことは、例えばこの連合自治会が12月11日にやったならば、1週間以内にこれ緊急問題やということで、連合自治会が各自治会に全部呼びかけて、説明してこうしたと、こういうのがなければ、言おうと思ったら何ぼでも言えるんで、そういったことができないように、やっぱり2カ月なり3カ月ぐらいの自治会の末端におれば、そういった余裕があると思うんですよ。その辺について、本当はもう1カ月かそのぐらいほしかったかなと。これ1カ月やったら、多分自治会そのものが開催、年末ですからその自治会を開催してないところがあるかもしれませんし、欠席しておればわからんのですね。そういった部分では、より丁寧に取り扱うように、今後お願いいたします。以上です。

○関洋三議長　再答弁、斉藤教育長。

○斉藤賢一教育長　藤田議員さんの御質問にお答えしたいと思います。

十　確かにそういう御懸念をお持ちになるということはあるかと思しますので、今後より住民の方々に理解していただけるように、十分な配慮をしてみたいというふうに考えております。どうぞ御理解をよろしく願いいたします。

○関洋三議長　ほかに質疑はありますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○関洋三議長　質疑なしと認めます。これをもって、質疑を終了いたします。

お諮りいたします。

ただいま議題となっております議案第2号は、会議規則第39条第3項の規定により、委員会付託を省略いたしたいと思います。これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○関洋三議長　異議なしと認めます。

よって、議案第2号は、委員会の付託を省略することに決定しました。

これより討論に入ります。討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○関洋三議長　討論なしと認めます。これをもって、討論を終了いたします。

これより議案第2号　まんのう町立学校条例の一部改正についてを採決いたします。

本案は原案のとおり決することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○関洋三議長 異議なしと認めます。

よって、本案は原案のとおり可決されました。

日程第6 発議第1号 本屋敷崇議員に対する議員辞職勧告決議（案）

○関洋三議長 日程第6、発議第1号 本屋敷崇議員に対する議員辞職勧告決議（案）についてを議題といたします。

ここで、地方自治法第117条の規定により、本屋敷崇君の退場を求めます。

（本屋敷議員退席 午前10時15分）

○関洋三議長 ただいま除斥となっております本屋敷崇君から、地方自治法第117条のただし書きの規程によって、会議に出席して発言したいとの申し出があります。

お諮りいたします。

この申し出に同意することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○関洋三議長 討論なしと認めます。よって、本屋敷崇君の申し出に同意することに決定しました。

本屋敷崇君の入場を許可します。

（本屋敷議員着席 午前10時17分）

○関洋三議長 本屋敷崇君の発言を許可します。

○本屋敷崇議員 初めに、お時間をいただきまして、ありがとうございます。

最初に、去る12月17日の議会と執行部による懇親会の日におきまして、泥酔による前後不覚の状態に陥り、暴れるという事態になりましたことを、課長会の皆様、議会の皆様、並びに関係各位の皆様に多大な御迷惑をおかけし、さらには、新聞報道に至り、まんのう町民の皆さんに多大な御迷惑をおかけいたしましたこと、私の不徳のいたすところであり、深く反省しております。

○関洋三議長 本屋敷さん、日程が17日言うたと思うが、19日。

○本屋敷崇議員 19日です。すみません。本当に申し訳ございませんでした。

経緯をお話させていただきますと、当日におきましては、本当に申し訳ない話ではありますが、泥酔により覚えていないのですが、翌日より自分のしたことに反省いたしまして、周りの方々のお話をもとに謝罪に回らせていただいた次第です。

その折に、御迷惑をおかけいたしました課長の皆様には、反省していただければそれで結構ですという、温かいお言葉をいただき、本当に感謝している次第です。本当にありがとうございました。

しかしながら、私自身、このことを謝罪するだけではなく、深く反省するとともに、今後このようなことが二度とないように、現在の要職におきましては、身を引かしていただくことと、議会の宴席への出席には自粛させていただくこと、それとともに、私自身禁酒をしていく所存です。心を入れ替え、今回のことを取り返していくためにも、今まで以

上にまんのう町のために尽力を尽くしていければと思っている次第ですので、どうぞよろしくお願いたします。本当に申し訳ございませんでした。

お時間ありがとうございました。失礼いたします。

○関洋三議長 本屋敷崇君の退場を求めます。

(本屋敷議員退席 午前10時20分)

○関洋三議長 それでは議題に入ります。

提出者から提案理由の説明を求めます。

まんのう町議会議員、白川正樹議員。

○白川正樹議員 提案理由、本屋敷崇議員に対する議員辞職勧告決議（案）を朗読し、提案理由の説明にかえさせていただきます。

今回の事件は、まんのう町課長会からの抗議文にもあるように、去る12月19日夜、議員会と町執行部合同の懇親会が行われ、帰りのバスの中において本屋敷崇議員が手当たり次第に職員に対して暴力を振るい、さらに下車した役場本庁玄関先での傍若無人の振る舞いを静止しようとした課長たちに殴る、蹴るの常軌を逸した行為から、1人の職員が鼻から出血、別の職員も口を切るけがを負い、駆けつけた琴平警察署員が泥酔状態の本屋敷崇議員を署内へ連行し、事情聴取したというものである。

本屋敷崇議員による暴行傷害事件は、住民から負託を受け、自らの行為を厳しく律することはもとより、率先して規範を示すべき立場にある町議会議員の行為として、まんのう町議会の品位を汚し、信頼を失墜させるものであり、断じて許すことはできない。

今後のまんのう町議会が、より一層町民の信頼を得て負託に応えられる町議会となり得るため、厳しい決断を下さざるを得ない。

よって、ここにまんのう町議会は、本屋敷崇議員が今回の行為を深く反省し、自らの良識と社会的、道義的責任において、速やかに議員の職を辞することを強く求める。

以上、議決する。平成27年1月9日。まんのう町議会。

○関洋三議長 これをもって、提案理由及びその内容の説明を終わります。

これより質疑に入ります。質疑はありませんか。

質疑、11番、藤田昌大君。

○藤田昌大議員 ちょっと提案者に質疑をいたします。これ許すべきことではないと、私も思っています。ただ、その中で、議会議員に対する懲罰要件の中には辞職勧告決議もありますし、嚴重注意もいろいろ種類があります。それぞれについては、経緯を踏まえながら、当事者間の話がどうであったか、そしてまた住民の声がどうであったかいうんが大変重要なことでもありますけれども、それらを重々考慮した中のこの判断であるか、それをまず1点聞きたいと思いますので、よろしくお願いたします。

○関洋三議長 答弁、発議者、白川正樹君。

○白川正樹議員 年末年始、いろんなどこからの住民の声を聞きますと、今も言うたとおり、議員辞職勧告決議を出すに至りました。

○関洋三議長 再質問、11番、藤田昌大君。

○藤田昌大議員 それに至っては、例えば当事者間の話し合いなり、どうなっているかというのは非常に重要な部分を占めます。ただ、住民感情にあっては、マスコミ報道されましたので、大きな問題になっただろうと思いますけれども、私もほかの市町なり、それらを聞きますと、当事者間の和解が成立して、警察に起訴もされていないやないかと、そういった部分ではこれは重要な案件で、反省を求めないかんのは事実でありますけれども、辞職勧告に値するような部分ではないという、私は意見も聞いております。そういった部分で、嚴重注意、裁定せえとは言いませんけれども、それであれば、まだまだ本人、これからの有望な人間でありますので、いろいろなことが考えられたと思うんですけれども、それらについて議論がされてこういう経緯に至ったか、その辺についてちょっとお聞きしたいので、よろしくをお願いします。

○関洋三議長 答弁、発議者、白川正樹君。

○白川正樹議員 嚴重注意という藤田さんの意見は藤田さんの意見で、私は議員辞職勧告決議（案）を出したということです。

○藤田昌大議員 ちょっと待って。答えになっとらん。はい。

○関洋三議長 質疑、11番、藤田昌大君。

○藤田昌大議員 私、こんな意見もありますよ言うただけであって、例えば当事者が嚴重注意してくれと、そういった申し入れがあってやるなら別ですけど、まんのう町職員連盟いう、わけのわからん郵便がきたんですよね。委員長に聞きますと、私はそんなん一切関与してませんということがありまして、職員連盟であれば、管理職であれ、職員であれ、全部の代表しとる人が連盟なんです。その連盟の中に、名前も何も書いてない、誹謗中傷のみを書いている部分について、私たちがする必要はないと思うんです。それに対して、どう考えたか。

○関洋三議長 質問者、藤田議員、決議案の内容についての質問にとどめていただきたいと思います。

○藤田昌大議員 ほんだきん、内容聞つきょんじゃ。そこの決意を至ったか、至ってないか。その簡単に自分らがする問題と違うんです。そういった事情聴取したか、してないかが一番大きな問題だろうと思うんです。そこをちょっと答えてください言よんに、こうなりますという中身と違うんです。経過を聞つきょんです。お願いします。回答してください。

○関洋三議長 答弁者、質問わかっていますか。よろしいですか。

それでは、発議者、白川正樹君。

○白川正樹議員 前回の全員協議会で、この経緯は議長のほうから説明がありました。そのあと本屋敷崇議員が、その返事、その説明に対して意義がありますかいうことで、議長のほうが言うたんですけれども、ありませんということなんで、議長の説明のとおりなことだろうと私は解釈いたしました。

〔「答え返ってきとらんのやきに。もうええわ。あとで言う。」と呼ぶ声あり〕

○**関洋三議長** ほかに質疑はありませんか。

8番、白川年男君。

○**白川年男議員** 確かに全協の席で議長に一任することにはなったんですけど、その辺を・・・

○**関洋三議長** 白川議員、決議案の内容についての質疑にとどめていただきたいと思ひます。

○**白川年男議員** これが出る前にやっぱり全協なり、こういう大事なことはこうこうこういうのを出しますよと、そういうのをやっぱりこういう大事なこと、ただきょうぱっとうこういうようなのが出ましたと、それではちょっとなんぼ議長に一任したと思ひますが、そこらを委員長にお聞きしますけど、その辺の流れをもう少し慎重に全員に報告することが大事でなかろうかと思ひんで、その辺をどういうふうを考えておるか、委員長に。この内容はもちろん一番だろうと思ひますけど、そこらがちょっと腑に落ちんところが私ありますんで・・・

○**関洋三議長** ただ今の質問は決議案の内容についての質疑でないように思ひますので・・・

○**白川年男議員** いやいや、それは非常に大事なことであつて、それまあ一言お願いしときます。

十 ○**関洋三議長** 答弁いただけるんですか。

発議者、答弁。

○**白川正樹議員** これは先ほど、私、説明したと思ひます。

○**関洋三議長** ほかに質疑はございせんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○**関洋三議長** これをもって、質疑を終了いたします。

お諮りいたします。

ただいま議題となっております発議第1号は、会議規則第39条第3項の規定により、委員会付託を省略いたしたいと思ひます。

これに御異議ございせんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○**関洋三議長** 異議なしと認めます。

よつて、発議第1号は、委員会の付託を省略することに決定しました。

これより討論に入ります。討論はありせんか。

はい、討論、11番、藤田昌大君。

○**藤田昌大議員** 反対の立場で討論させていただきたいと思ひます。

と申しますのは、今委員長に聞いてもはっきりした答弁がなかつたんですよね。例えばこの辞職勧告決議ということについては、刑事事件になれば当然だろうと思ひますけれ

ると思います。テレビ報道でも一緒でしょ、そういった部分で考えたら、悪乗りして、この決議案出すことについては、私は反対ですので、反対の立場で意見を言っておきます。以上です。

○関洋三議長 ちょっと説明いたしますと、討論は反対討論、次に賛成討論となりますので、次の方は賛成討論で、賛成討論を求めます。

はい、討論、12番、松下一美議員。

○松下一美議員 12番、松下です。

この件につきましては、私もやはり、同僚議員の1人として責任も感じております。そしてまた、今、藤田議員も言われましたように、満濃中学校の、PFI事業におきましては、特別委員会の中で本屋敷議員がリーダーをとってやられており、そしてまた、この問題につきましては道半ばでありまして、まだまだ解決しなければならない問題が多くある中でありますので、大いに期待をしておったところではありますが、やはり今回の、この職員であれ、誰であろうとやはり今回のような事件というのは絶対あってはならないことでありまして、ましてや議員たるものはやはり弱者の立場であり、いろんな住民の方の声を届けていかなければならない負託を受けている議員として、絶対にあってはならない行為でありますので、本人ともども私も針のむしろの上ではありますが、しっかりと議員の務めはやっていかなければならないと思っております。この辞職勧告決議案に私は賛成の立場で討論とさせていただきます。

十 **○関洋三議長** 次に、ほかにありましたら、次は反対討論となります。 十

反対討論、8番、白川年男君。

○白川年男議員 これに反対の立場で、現場の状況、私この現場ではおらなんだんですけど、議長をはじめ何人か議員さんがおって、こちら側に課長さんなりがおったと思います。そして、どういう形でことが進んだかどうかは知りませんが、要は警察が来たど、そして殴ったと、そういうことかと思えます。そして、議長をはじめ議員側もそれを止めないかん、それから課長のほうも止めないかん、両方が止めないかんところを結局止められなかったと、そういう中で、それは確かに殴ったほうが悪いとは思いますが、それは私も十分承知、思うんは重々承知してますが、やはりこの点においてはけんか両成敗とそういうんで、御破算と、それから・・・

[発言する者多く聴取不能]

○白川年男議員 私が言いよんやからちょっと静かにしとってくれ。もう、やかまし言わんとってほしいんですわ。

本人も十二分に反省しとんです。嚴重注意に対しても真摯に受けると、さらには、これから宴席の席についてもしばらくは出ないと、そういうことも聞きました。そういう形においても十分反省しておると、さらに今、藤田議員からもPFIにしろ、その他もろもろのことに非常に関向きに、私もある所に行ってちまたの声も聞いても、本屋敷はようやとると、白川君もしっかりせえよと、お前はそれは確かに年は上は上だろうけども、

議会に対する姿勢は非常に高いものと、そういうちまたの声も聞いてます。

そして、さらに近隣でもこういう事件がありました。それは警察と口論して、あげくの果て刑事処分、あるいは、多分裁判になったかと思うんです。そういうことでもないんですから、お互いに穏便に済ましたんであって、だからその辺も勘案して、さらに議会の姿勢を確かに問われると思うんです。姿勢を問われても、ただ我々は地域住民のために一生懸命、このやったことは確かに、我々ともどもに反省せないかんですが、それ以上に住民のために、格好をとったり、そういうなんでなしに、前向きに一生懸命この地域のことを本当に思うあつい心、これは彼にあると思うんです。そういう中で、ただ議会の姿勢を問われるとか何とか、それは大事なことはと思いますが、そういうことを十分慎重に判断して、嚴重注意ぐらいで私はええんでなかろうかと思うんで、この辞職勧告には反対します。十分議員諸兄も彼を追い越すぐらいな迫力をもって勉強してもらいたいと思います。そういう中で、反対討論にかえさせてもらいます。以上です。

○関洋三議長 次は2人目の賛成討論を求めたいと思いますが、よろしいですか。

1番、竹林昌秀君。

○竹林昌秀議員 賛成の立場から発言させていただきます。

私は辞職勧告決議案には疑問を持っております。当人がそれに従わなかったときのあとの対応を考えると、果たして適当なのだろうかと思えます。しかし、私の支持者、相談した方々は、それぐらいは必要だとういうことであって、私の個人的意見よりも、住民の声、こうしたときは普通は蟄居閉門、謹慎であってですね、神仏の判断に委ねるのが我々日本人の伝統であります。それに近いところからしますと、公人としての議会の尊厳を守るためには、そしてまた、課長会が早急に抗議文を議長宛てに出すに至っては、私たちにとって最も大事なものは執行部との関係であります。議会人は、発言はできても執行権限がまるっきりない。課長さん方が職員を率いて町民のために奔走してくれることが町の発展につながります。課長方の信頼を失ったということは、議会の権能を甚だしく傷つけた。単に辞職勧告決議案が出てひとくくりをつけたと言えるものではない。謝罪をすればすむというものではない。この後の挽回する手だてがあるのか、ないのか。自ら決すべきことだと思います。

課長方は、早急に抗議文を出した。この結束は明白であります。その背景にはこれまでの、執行部と議会の関係において、糾弾的対応に偏向し、追及姿勢のみ濃厚で執行部からするとふんまんやる方ないものの鬱積があったかに察します。課長方は今後の行政の円満な進行に配慮し、私情を捨てて被害届を出さず、不法行為による損害賠償請求もしないと、極めて穏当なる大きな心をもって職責を全うする姿勢に一貫しております。我々議会は執行部にわびなければならない。議会の権能失墜した責任を取ってもらうには、最も的確な方法とは思いますが、他に代替手段がない。よって賛成いたします。

これまでの当人の議会審議における行き過ぎのところは、種々ふくそうすることがあって、当人のみに責任を負わせる、100%負わせるものではないと思いますが、執行権

を果断に遂行すべき町長の立場もあるし、同僚議員を静止得ない我々の力量不足もあり、無事穏当を願う、保身に走る空気もあつたり、種々問題はあろうかと思ひます。私は、住民の声の代弁者といたしまして、発議に賛成いたします

○関洋三議長 これをもって、討論を終了いたします。

これより発議第1号 本屋敷崇議員に対する議員辞職勧告決議（案）についてを起立により採決いたします。

ただいまの発議に対する賛成の諸君の起立を求めます。

（賛成者起立）

○関洋三議長 起立多数であります。

よつて、本案は可決されました。

ここで、本屋敷崇君の入場を許可します。

（本屋敷議員着席 午前10時45分）

○関洋三議長 以上をもって、本日の日程は全て終了いたしました。

会議を閉じます。

これにて、平成27年第1回まんのう町議会臨時会を閉会いたします。

閉会 午前10時46分

地方自治法第123条第2項の規定により署名する。

平成27年1月9日

まんのう町議会議長

まんのう町議会議員

まんのう町議会議員

+